

農業



平成24年4月号
会誌 No. 1558

目次

巻頭言

復興への挑戦……………大澤 貫寿 3

論壇

3.11から1年：「東北復興問題」と東北の稲作発展を振り返る…田中 耕司 4

農芸委員会

バイオマスエネルギーの研究開発と実用化（第2部）…………… 6

バイオマスのガス化・熱分解液化……………西郷 正道 6

第二世代バイオエタノール製造技術開発の海外動向と

稲わら変換プロセスの開発状況……………徳安 健 8

海外の動向

稲わらからのバイオエタノール製造

意見交換…………… 15

農業技術開発研究会

水田作にかかる技術開発の動向と普及への取組（Ⅱ）…………… 22

—農業技術開発研究会（第10回）意見交換の部—

コスト低減の3要素のウエイト

鉄コーティング，直播専用品種，雑草対策

耕畜連携の視点から

直播技術の普及上の課題

機械投資，米国の稲作

多面的機能に対応した技術への取組

独法研究所はどう考えるのか

総合研究について問う

農事功績者座談会

収益性の高い果樹産地の持続的な発展…………… 35
—放射線物質の除染作業を行いつつ、将来をみつめる—
私の経営と農業への思い…………… 縦山和一郎 36
現地指導者のコメント…………… 遊佐 信次 41
質疑・討論…………… 42

農業・農村の現場から

地域との共生による有機ブランドのみかん作り…………… 佐藤 睦 57

世界の農業は今

ボリビアの暮らしと稲作…………… 富久尾 歩 61

表彰

平成23年度大日本農会賞の受賞者…………… 66
付：大日本農会と東京農業大学の関係

農政情報

大日本農会だより…………… 71

表紙写真説明

春耕（長野県上田市）

桜の咲くころは、陽気もよくなり、農作業もしやすくなる季節である。この写真は長野県上田市での農作業風景である。上田市は、日本のほぼ中央部、長野県の東部に位置し、北に長野市、千曲市、須坂市、坂城町、筑北村があり、西は松本市、青木村、東は群馬県嬬恋村、長野県東御市、南は長和町、立科町に囲まれている。奈良時代から京都と東北を結ぶ東山道の重要拠点として栄え交通の要衝であった。2,000m級の山々に囲まれ、中央を千曲川（新潟県に入ると信濃川）が流れ、標高400mから800mの河川沿いに広がる平坦地や丘陵地帯に市街地や集落、農耕地が広がる。

上田市の農業は、少雨多照な気象条件のもと標高の低い平坦地では水稻、果樹、花きなど、標高の少し高い地域では野菜や花き、高冷地では野菜を中心とする農業生産が行われている。菅平高原の「レタス」、上田地域の「トルコギキョウ」、武石地域の「ひめゆり」などが産地化している。
(写真提供：(社) 地域環境資源センター)